

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業
委託業務実績報告書（令和 6 年度）

1. プログラム名：	学術知共創プログラム
2. 研究テーマ名：	人間・社会・自然の来歴と未来:「人新世」における人間の根 本を問う
3. 研究代表者氏名・所属・職：	中村靖子・名古屋大学大学院人文学研究科・教授
4. 研究期間：	令和 4 年 6 月 1 日～令和 10 年 3 月 3 1 日

5. 報告年度における当初研究計画（2 頁以内）

応募内容提案書に記載した研究計画について、本プログラムの趣旨及び課題の内容を念頭に置いて、報告年度において、何を、どのような方法を用いて、どこまで明らかにしようとしたか、具体的かつ明確に 2 頁以内で記述すること。なお、研究の進捗に応じ応募内容提案書から変更した部分があれば理由とともに明記すること。

現代の人間・社会・自然の危機は、科学技術や、近代的個人という従来の人間像を前提とした社会制度設計では克服できない。それゆえ人間の来歴を探り未来の姿を模索しつつ、人文知を中核として新たな人間像を問うことが必要である。そのために本研究は、4 つの重点項目（人間と自然との相互関係史、言語獲得と主体化プロセス、セクシュアリティ、生政治とアート）を取り上げ、それらを追求する研究班と、統合的な理論構築を目指す研究班（理論班）を設置し、さらに統括班を置いて各班の連携を促しつつ全体を運営してきた。いずれの研究班にも、人文、社会科学、自然科学系の研究者を配置することにより、自ずと分野横断的な研究活動が生まれ、また各班の人文系、社会科学系、自然科学系とのつながりにより、研究班相互の連携がしやすい体制を構築した。

「理論の構築」を担当する第 1 班はハビトゥス論とアクターネットワーク理論（以下、ANT と略記）を精緻化することを目指し、定期的な班別会議や、外部講師による ANT のワークショップの開催を通して、両理論を班員らの各領域固有の視点と知見を参照して議論を重ね、共通基盤の形成と発展を目指した。ANT についてのこれまでの議論を踏まえ、ANT をプロジェクトの重点項目との関連において考察を深めると共に、ハビトゥス論の現在と射程を測るため、各研究班相互の連携を促しつつ、理論構築に努めることを目指した。

第 2 班は人類史における自然・社会・人間の相互関係史を、ANT とハビトゥス論に依拠した動的な関係モデルで捉えることを中心的な課題としている。前半 3 年間の節目としてこれまで得られた知見を整理し、ハビトゥス論の導入計画を具体化させる。その方法として、他班のメンバーや海外の研究協力者も交えて国際学会等でパネルを組み、成果発表と討論を行う。これにより国際ネットワークを拡充し、後半 3 年間の研究をさらに国際的に展開させるための基盤を形成する。

第 3 班は、近年ますます重要な社会的・倫理的・学術的問題となってきた「生成 AI とロボティクス」を主題とする叢書第 2 巻の準備を進める。(1) テキストマイニングと生成 AI の活用の模索、(2) 人間及びロボットに関する「痛み」と「主体性」と関連する概念に関する研究の推進を目的とし、具体的には、(1) テキストマイニング及び生成 AI による計量可能なデータの取得と分析を通じて、伝統的な文学研究では到達できないテキスト解釈を導く、(2) 「主体性」及び「痛み」という曖昧な概念を整理し、ロボットとの共生社会の可能性を検討することを計画した。

第4班は「セクシュアリティの多様性」について、進化心理学・生物学および現代史・文学・精神分析の観点から考察することを目的とする。研究期間前半を通じて、特に生物学的に定義される身体的な性(セックス)と、社会的・文化的に定義され、性自認など心理的な側面に結びつく性(ジェンダー)を、従来のように截然と区別しうるものと捉えるのではなく、むしろ両者の相補性・不可分離性に目を向け、ステレオタイプなジェンダー観の批判的検討と多様なセクシュアリティについて多角的考察を行い、これらの知見をさらに精緻化し、実証的に検証することを目指した。

「生政治とアート」を担当する第5班は、過去2年度の研究から得られた知見、すなわち人間以外のものを含めた生政治論の練り直しの必要性および可能性をより精緻化し、実証的に検証することを目指した。具体的にはまず、第1班のANTの検討、第2班の新たな自然観の探究、第3班のロボット研究などとも連携を深めつつ、新たな生政治論の輪郭をより明確化しようとした。本年度は、とりわけハビトゥス概念に着目し、これに従来の人文学的な文献研究とは異なる、認知神経科学、臨床心理学、心理情報学といった実験的なアプローチを通じてせまろうと共に、芸術がいかにこの状況に対する抵抗の契機を有するのかを歴史的な文脈のなかに探ることを計画した。プロジェクト全体としては、以下の通りである。

・国際学会での共同パネル発表 2023年度中に、班をまたがって二つの共同パネルを企画し、東西哲学会議（ハワイ大学、2024年5月）と世界哲学会議（ローマ大学、8月初旬）に申請し、受理されている。会議までに相互に議論を重ね、より充実したものとする。

・国際会議の開催 国際会議 Anthropocene シリーズ第2弾として、第5班を中心に「Anthropocene Calling II: Humans, Animals, Machines」（ベルガモ大学）を開催する。第5班以外のメンバーやイタリア人研究者の参加により、学際的かつ国際的なフィードバックを得ることを意図した。昨年度と本年度の二つのシンポジウムは、扱うトピックや登壇者などにゆるやかな連続性をもたせ、「人新世における人間・社会・自然の関係」という全体的なテーマを深化させることを企図した。

・叢書刊行 当初最終年度2027年に予定していた叢書発刊の計画を早め、企画を具体化し、全6巻とし、各巻の主題と執筆者を確定し、2025年3月に叢書第1巻を刊行することを目指す。

・学術知の社会還元 「終わらない読書会—22世紀の人文学に向けて」（南谷主催）を通じて、人文学と自然科学を架橋する知見と方法論を波及させ、会の活動の拡大を目指す。

・研究活動の広報 プロジェクトの活動については随時ホームページやニュースレターを通じて広報に努める。

研究班	5月	7月	8月	9月	11月	12月	3月
1. 理論	ハワイパネル	理論班会議	全体集会（一部、叢書第1巻の構想発表会）	台湾パネル （国内協力者）	金沢21世紀美術館 との共催シンポ	理論班会議	（一部、叢書第4巻の構想発表会） （学術知共創プログラムの他プロジェクトとの連携） 叢書第1巻刊行
5. 生政治とアート		ロボット視察研究会		企画シンポジウム （国内協力者）		ベルガモ会議 （海外協力者）	
2. 自然と人間の相互関係史							
3. 言語獲得と主体化プロセス							
4. セクシュアリティの多様性							

*定期開催：テキストマイニング講習会、オンライン読書会；随時開催：各班の班別会議、GLミーティング

6. 報告年度における研究の進捗状況・成果及び波及効果（4 頁以内）

報告年度における研究の進捗状況・成果及び波及効果を、以下の点を含めながら、具体的かつ明確に 4 頁以内で記述すること。

- ・本事業の趣旨及び当初の研究目的に沿って、着実に研究が進展しているか。
- ・具体的な研究成果及びそれらのどのような点が先導的であるか。
- ・未来社会が直面するであろう諸問題に係るどのような応答を研究成果として提示できているか。
- ・人文学・社会科学と自然科学の双方に学術的視野の広がりをもたらし、人材の育成にどのように寄与しているか。
- ・研究成果をどのように公開・普及させているか。
- ・研究成果及びその普及によって、学術や社会の発展へどのように寄与しているか。
- ・研究成果の発表・発信状況。（主な学術論文、学会発表、著書、産業財産権、招待講演、ホームページ、主催シンポジウム、一般向けのアウトリーチ活動等。ただし本報告書提出までに掲載等が確定しているものに限る。なお e-Rad に入力した分はここに記載する必要はない。）

各研究班が担当する 4 つの重点項目に関連して、プロジェクト全体で共通の理論的基盤として採用した ANT とハビトゥス論の有効性と可能性について、毎年度 2 回開催する全体研究集会（各 2 日間）や各研究班の班別会議を通じて議論を重ね、理解を深めてきた。研究期間前半の節目となる本年度は、各研究班が連携して研究成果を発信することに注力した。**成果発信**としては、国際学会での共同パネル報告（3 件）と叢書（全 6 巻）の刊行開始、**他プロジェクトとの連携、成果の社会還元**としては、一般公開のシンポジウムや読書会の開催、**人材育成**としては、人文系、自然科学系を問わない超領域的な若手研究者のネットワーク形成のための創発知研究会の立ち上げとロボット視察研究会の継続、**国際的な研究連携**として国際会議の開催を実現した。

① 理論（第 1 班グループリーダー：中村靖子）

中村はデータサイエンスを用いた人文学の展開の可能性を探ってきた。特にフロイトの著作や文学作品を例として、文献精読と並んでテキストマイニングを用いた分析がもたらす可能性を検討してきた。鄭は、言語モデルを用いた内容の感情分析を中心に据え、データの信頼性を高めるためのデータフィルタリング手法を導入し、感情モデルの精度および感受性の双方が向上する可能性を示し、これらを、中村をはじめとする人文系メンバーとの共同研究に応用し、その成果を叢書第 1 巻の刊行へと結びつけた。金の企画により、**ラトゥールの思想を組む展覧会を開催した金沢 21 世紀美術館と共催で一般公開の国際シンポジウムを開催したことは、本年度の大きな功績である**（名古屋大学、11 月 4 日）（第 1 班、第 2 班、第 5 班と連携）。平田は、従来の社会学の代替ではなく補完として、ANT の役割を批判的に検討したニール・ブレナーの議論を基に、政治経済学との接合による ANT の有効性と存在論的な限界について考察し、田村は、ANT を踏まえた政治や民主主義の概念を再検討する中で、人工知能の民主主義的・非民主主義的側面を腑分けして後者を抑制しつつ前者を活用する方向性の検討に入った。鈴木は社会集団の形成と崩壊を記述する動的な社会のモデルを応用し、個々のアクターの相互作用による環境の変化や文化の形成、またアクター自体の特性変化を表現することにより、ANT やハビトゥス論の統合的理解の一助としている。大平徹は、大平健太、大平（英）（第 5 班）との共同研究で、個々には微弱な活動しかし素子（ユニット）が遅れを含んだ相互作用をすることで、活動の強さが 1 億倍にもなり得ることを、数理モデルを用いて示した。これは、信号情報処理などへの応用の道も開かれうるものであり、米国の学術誌 *Chaos* で出版され、国内外にプレスリリースがなされた。

本プロジェクトにおいてはこうしたシミュレーションや数理的アプローチ、並びに統計学的アプローチを用いることにより、理論の実証的な裏付けを推進することができている。

② 自然と人間の相互関係史（第2班グループリーダー：岩崎陽一）

ANTにより自然と人間を捉えるにあたり、これまでの議論から、価値・倫理が分析に含まれないため「どのような関係を構築すべきか」という問題を扱えないこと、私たち人間の経験が疎外されかねないという課題が浮かびあがった。これらの課題に関する議論は、5月の東西哲学会議ならびに8月の世界哲学会議におけるふたつのパネル発表で議論を明確に提示した。価値・倫理の問題については岩崎が仏教的倫理をANTに導入することを提案し、人間性については立花が「愛」の経験に注目して人間の特殊性を示した。ふたりの議論は、高橋のロボット論や伊東の動物論、また森の暴力論を踏まえたものであり、2班のこれまでの研究を集約するものといえる。同時に国際パネルでは1班、3班、5班の研究者とも連携し、また外部からSTS（科学技術社会論）や技術の哲学の専門家も招き、班の枠を超えてプロジェクト全体へ、さらにプロジェクトを超えてあらたな学知形成の舞台へと歩み出すものであった。

③ 言語獲得と主体化プロセス（第3班グループリーダー：南谷奉良）

第4回全体研究集会の企画セッション「ロボティクスと生成AI」やその後の班別会議（6月18日）における継続的な議論を踏まえ、これらを研究成果としてまとめ、叢書第2巻として刊行する準備を進めた（南谷編集）。本班は、人工アンドロイドを登場させるカズオ・イシグロの小説『クララとお日さま』（*Klara and Sun*, 2021）を共通の中心的なテキストとし、和泉は同小説の翻訳に見られる「おんな言葉」の分析を行い、言語表現と規範意識の関係を指摘した。池田はマイケル・トマセロの議論を中心とした主体化の概念整理を行った上で、ヒトとロボットの共生における「共有的主体性」を提起し、宮澤はマルチモーダル情報統合による言語獲得について、ロボットを用いた実験に基づき成果を発表した。これらの成果は叢書第2巻に収録予定であり、海外研究者の招聘にもつながっている。このように本班は技術がとりまく人間と世界の関係性の変容を捉えることに注力し、生成AIやロボティクスが日常生活に浸透する現代社会において、人間の主体性や対他者関係への影響を、実験に基づき理論的に検討し、異分野融合的な視座を提供している。

④ セクシュアリティの多様性（第4班グループリーダー：鳥山定嗣）

第4班は、ジェンダーの通念とセクシュアリティの多様性について、内分泌行動学、現代史、文学の観点から考察した。

まず内分泌行動学の観点から、感覚処理の特異性と創造的専門能力の発現との関連性についての比較研究を行なうとともに、発達特性や卓越した創造的能力の発達要因としての男性ホルモン過剰説を批判する理論研究（Sakaguchi & Tawata, 2004）をまとめた。これらの成果は、従来の性別役割イメージに基づく才能や発達障害の性ホルモンによる素因論を根本から問い直し、アイデンティティ発達に関する、内観と生物学的な説明を統合するための基礎的知見をもたらすという点で先導的である。上記の理論研究は2024年5月1日の公開から約1年間で4,900回の閲覧と1,600回のダウンロードを受けた。これは、Frontier 関連誌に掲載されている全論文のうち上位1/4のスコアである。社会運動という観点からは、1970年代に反結婚・反家族主義を標榜してはじまったヨーロッパのゲイ運動が、1990年代から「同性婚」の法制化を要求する方向に舵を切った歴史的経緯を解明するとともに、今日なお反結婚を唱え、同性婚反対の立場に回った古参のゲイ運動家やレズビアンをの思考を探り、英国とフランスの現状を比較検討した。同性愛者やトランスジェンダーの社会的包摂という点で、欧米の状況を把握することは、日本社会が今後直面するであろう

う諸問題に向き合うための指針を提供する。文学研究の観点からは、日本における西欧アフォーリズムの受容と女性嫌悪の風潮の結びつきに関して、前年度に開催した国際シンポジウムの成果を研究論文集として出版すると共に、思考と不可分な言語そのものを批判的に検討するべく、フランス詩における脚韻の性の変遷を歴史的にたどるとともに、言語上の性における破格的な用法と社会的なジェンダー規範から逸脱する作家のセクシュアリティとの関係性の一端を明らかにした。

⑤ 生政治とアート（第5班グループリーダー：武田宙也）

第5班はまず、本プロジェクトの重要概念であるハビトゥスが形成・維持・変容するメカニズムについて、認知神経科学、臨床心理学、心理情報学の観点から考察を行った。

ハビトゥスの学習と機能は、報酬系の中枢である線条体と、恒常性機能の中枢である島皮質、さらにそれらのトップダウン的調整を行う前頭前皮質であるという仮説に基づき、これらの部位を対象として実験研究を行った結果、**基礎的学習と社会的学習の神経基盤は重なっていることが明らかとなり、ハビトゥスの神経メカニズムに関する有力な知見が得られた。**デジタルエージェントとの対話を媒介とする心理的作用と新たなハビトゥスの可能性についての検討は、人間とデジタル存在との間に新たな相互行為の様式やハビトゥスが構築されうること示唆するものであり、今後のメンタルヘルス支援の展開に対しても理論的・実践的意義をもつと考えられる。従来社会学の分野で研究されてきたハビトゥスという概念に実験的な側面からのアプローチにより得られたこれらの知見は、まさに本プロジェクトだからこそ実現しえた「先導的」と呼ぶにふさわしい研究成果である。芸術研究においては、ニコラ・ブリオーの唱える「人新世の美学」の探究を通じて、人新世時代の「生政治とアート」について考察し、汚染・感染をテーマにした1990年代の三上晴子作品の分析や、2020年にカールスルーエのZKMで開催された「クリティカル・ゾーン」展についての分析を通じて、「大気と芸術」という観点から上記テーマの探究を深めた。

〈人材育成〉

第3回「ロボット視察研究会—ロボット・人工物の主体化・身体性をめぐって」（7月27日）を実施した。人文系、自然科学系を問わず、特に若手研究者がロボット研究の現場に触れた上で、各自が己の研究領域の観点から、ロボットと人間との共生について議論した。

本プロジェクトメンバーはほぼ全員が専門分野を異にするほど学際的である。この強みを活かし、メンバーがそれぞれに関連する若手研究者に声をかけ、創発知研究会（Auroral: Emerging Assembly: 京都大学、11月30日）を立ち上げた。第1回研究会では、英米文学、現代アート、表象文化、インド哲学、哲学思想史、感情心理学、数学、機械学習、人工生命など、15以上の分野から若手研究者が参加し、各自の先端的な専門分野の概要を紹介し、質疑応答を行った。創発知研究会は今後、毎回特定の主題を設定し、その主題を学ぶための方法論やアイデアを構想する場として展開する予定である。毎年度2回開催している全体研究集会でも若手枠のセッションを設け、共同研究の報告を促す。叢書には若手研究者の寄稿も促している。

〈学術や社会への発展〉

南谷が主催する「終わらない読書会」（5月、7月、11月開催、総登録者380名以上）では「ヒト・動植物・機械・モノ・自然の境界」などを主題とするテキストを選び、テキストマイニングを用いた分析を紹介するなど、アカデミア以外の参加者らと共に統合的に読む試みを行っている。南谷は第5班の山本とともに、医用画像工学研究会の依頼で『Medical Imaging Technology』特集号

にも寄稿した（文理横断）。第6回全体研究集会（名古屋大学、3月28-29日）は未来の物語と古代の物語をテーマとし、第1セッションでは学術知共創プログラムに2024年度採択されたプロジェクトの代表大澤博隆氏を講師に迎え（他プロジェクトとの連携）、SFと想像力という観点から我々のプロジェクトとの共通関心事について議論した。第3セッションでは比較考古学の小茄子川歩氏を招き、古代文明を例に社会構造の通時的な変化と未来社会の方向性について議論した。第2セッション「ジェンダー&セクシュアリティ——通念・多様性・越境」では第4班の研究成果をプロジェクト全体で共有した。特に性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する坂口の知見は、内閣府政策統括官からのヒアリング要請に対応して提供している。

〈研究成果の発表・発信状況〉

・国際学会での共同パネル発表 東西哲学会議（ハワイ大学、5月29日）では中村・鄭（第1班）、岩崎、立花（第2班）、和泉（第3班）、大平（英）（第5班）が共同パネル「Evolving Humanity: Pain and Healing in the AI Era」を企画し、報告した。世界哲学会議（ローマ大学、8月2日）では岩崎、立花（第2班）、和泉（第3班）が海外研究協力者2名と共に共同パネル「Humanity Revisited: Navigating a World Shaped by AI」を企画し、人間とAIの相互作用から生じる倫理的な問題を論じた。当初計画にはなかったが、さらに共同パネルを一つ企画し、INTERFACEing2024（台湾国立大学、8月30日）にて、共同パネル「Narrative Sentiment Analysis Using Language Models」において鄭と中村（第1班）が国内研究協力者と共に報告した。これらは叢書第1巻の構想に寄与した。



金沢21世紀美術館との
共催シンポジウム

・一般公開の国際シンポジウムと読書会の開催 エマヌエーレ・コッチャ氏（パリ社会科学高等研究院）をゲストとして金沢21世紀美術館と共催で一般公開の国際シンポジウム「すべてのものとダンスを踊って—共感のエコロジー」（名古屋大学、11月4日）を開催するとともに、本プロジェクトと共催の「終わらない読書会—22世紀の人文科学に向けて」を通じて、一般に対しプロジェクトの研究成果を発信し続けている。

・国際会議の開催 国際会議 Anthropocene シリーズ第2弾として「Anthropocene Calling II: Humans, Animals, Machines」（ベルガモ大学、2025年3月12-14日）を開催した。今回は第1班、第3班、第5班のメンバーが参加し、大規模言語モデルやSNS上の言説空間など、さらに多彩な主題を扱った。日本側の参加者13名、イタリアやスイスの参加者は5名である。これらの研究報告や議論は叢書第3巻（執筆言語：英語、国際共著）として2026年3月に出版する予定である。



叢書第一巻

・叢書刊行 叢書第1巻『ことば×データサイエンス』（執筆言語：日本語、国際共著）を刊行した（2025年3月27日）。この論集では情報学、ロボティクス、臨床心理情報学のメンバーと共に、人文系のメンバーもテキストマイニングの手法を用いており、文理融合型の論集となった。鄭が技術指導した若手研究者のコラムや研究事例なども掲載した。

以上の研究活動はすべて、本プロジェクトのホームページ（<https://a3hsn.org/category/activity/>）にて発信すると共に、ニュースレター（日本語版&英語版）を発行して各方面に広報している。

7. 今後の研究の推進方策（2 頁以内）

研究目的を達成するための報告年度翌年度以降の本研究テーマの推進方策について、年度別に分けて、具体的かつ明確に 2 頁以内で記述すること。

研究期間後半に入る 2025 年度からは、これまでの研究成果を踏まえ、プロジェクトが理論的柱とする ANT とハビトゥス論との発展的統合を目指す。そもそもハビトゥスとは、ヴェーバーが展開したエートス〔倫理的性向〕概念に、ブルデューがハビトゥス〔美的性向〕概念を付け加えたものである。この概念に依拠することで、本研究は、個人の発達心理における社会的影響を加味しながら、自然・言語・セクシュアリティ・芸術などを見通す視座を得た。他方で、ラトゥールの ANT については、人とモノの関係、自然と社会の関係の再考を通して、人間と諸科学・技術——遅れの数学、Spatial Chat, ロボット、生成 AI、デジタル・フィギュア、テキストマイニング——とのインターフェイス〔接点・橋渡し〕を明らかにすることができた。

以上を受けて、これまで以上に海外研究協力者と連携してワークショップなどを開催し、本プロジェクトの研究知見を共有する次世代の研究者の育成に注力する。これまで海外研究協力者とは、第 4 班を中心とした国際シンポジウムの開催と叢書第 4 巻への寄稿、第 5 班を中心とした国際会議の開催を通して研究交流を重ねてきたという実績がある。これらの研究者を、本研究の研究拠点である人文知共創センターの共同研究員に迎え、正式に本プロジェクトの研究参画者とした（2025 年 5 月 23 日学振に届け済み）。芸術史・美学、コンピューター論理学・哲学、法哲学、環境人文学・政治思想、などを専門とするこれらの研究者の参画は、本プロジェクトが重点項目とする主題を深めていくためにも非常に有意義である。国際性という観点からも叢書を充実させ、学術知の社会漢検へと繋げる。最終年度に国際研究集会（名古屋大学、2027 年秋）を開催する。

〈2025 年度〉

・**ハビトゥス理論の考察の深化** 第 8 回全体研究集会（名古屋大学、8 月 26-27 日）では、第 1 班の企画によりハビトゥス理論の考察を深めるため、ブルデュー研究を専門とする研究者と、ポスト・ブルデュー派のリュック・ボルタンスキー研究を専門とする研究者を講師として迎え、メンバーがコメンテーターを務める討論会を設ける。第 9 回全体研究集会（名古屋大学、2026 年 3 月予定）では第 4 班と第 5 班の共同企画により、人新世およびポストヒューマンをテーマとする展覧会や創作活動をアートおよびセクシュアリティの観点から検討する。

・**叢書の刊行** 生成 AI とロボティクスを主題とした第 2 巻（8 月末刊行）、国際会議 Anthropocene シリーズの成果をまとめた第 3 巻（執筆言語：英語、国際共著、2026 年 3 月末刊行）を刊行する。セクシュアリティを主題とする第 4 巻は、2023 年度に開催した国際シンポジウムの成果をも踏まえた国際共著であり（執筆言語：日本語）、執筆者陣による構想発表会（名古屋大学、2025 年 8 月 26 日）を予定しており、事前に執筆者相互の理解を深めることにより、論集としての統一性を確保する。叢書は学際的な論集であるため、各分野の論文のフォーマットなどで諸々すりあわせが必要であり、これについての討論会を全体集会で行う。

・**海外研究参画者との連携** 研究参画者となった研究者らを順次招聘し、ワークショップやセミナーなどを開催する。これについては各研究者らと現在日程調整中である。

・**若手研究者らの研究交流のサポート** 第二回創発知研究会では「身体性と人工物」などの共通テーマを設定し、異分野間対話を深化させ、横断的な知的基盤を持つ次世代研究者の育成を推進する。共同研究の萌芽を促進するため、全体集会で報告の場を提供する。

〈2026 年度〉

・ハビトゥス論の導入 現在に至るまでの思想史上のハビトゥス論の展開を踏まえ、第5班の実験・調査により得られたハビトゥスの神経基盤についての知見を組み込んで統合的に考察する。これを、言語運用やセクシュアリティに関連して、社会的・文化的に慣習化されたジェンダー通念を再検討する。

・**成果発信** 叢書第4巻と第5巻を刊行する。第4巻では、感覚処理と身体・世界認識の多様性との関連について、ジェンダーの越境とシャーマニズムに通じる意識の越境との類似性、ドゥジュールの理論に基づく性的身体論とラカン派精神分析の性的享楽論との接続、芥川龍之介没後100年を記念した文学雑誌『Europe』の特集の企画、ロラン・バルトの「中性」をはじめ、性的二元論を批判的に検討する思想の系譜、などが主な観点となる。

・アーティストらとの連携 これまでの取り組みによって新たな輪郭を与えられた生政治的状况に対して、どのような「オルタナティヴ」が可能となるか、理論の見地および実験の見地の両面から検討していく。また、現代アートの領域にその具体的なイメージを探り、国内外のアーティストとも協働しつつ実践的なプロジェクトへの展開を模索する。

〈2027 年度〉

ハビトゥス概念と ANT について、研究期間全体を通して議論を重ねた上での諸々の成果を踏まえ、本研究にとっての共通概念を創造する。これらの総括として、①人間性についての新しい概念の構築を目指す（第1班）。そこでは②人間・社会・自然の未来の相互関係の提示と、そこから生まれる新たな課題に対処する計画の立案（第2班）を試みる。その際、③生成 AI とロボティクスを論じるにあたり、単なる技術論に留まらず、それらがもたらす社会的・文化的変容を総合的・批判的視座から捉え、未来社会に応答する持続的な研究・教育モデルと研究者ネットワークの構築へと繋げる（第3班）。④生物学的な性（セックス）、社会的・文化的な性（ジェンダー）、言語的な性（ジェンダー）相互間の複雑な関係性を明らかにするという課題（第4班）、⑤現代の生政治的状況の見取り図（理論的・実験的観点から）と、それに対する抵抗の方途（芸術的想像に立脚した）という課題（第5班）に対して、一定の見解を導き出す。

・国際シンポジウムの開催 2 件 セクシュアリティを主題とする第 4 巻の刊行を記念し、2023 年度に引き続き海外研究協力者を招聘し、国際シンポジウムを開催する(名古屋大学、2027 年 5 月)。

さらに、研究参画者である海外研究者らを招聘し、本プロジェクト全体の総括とも言える国際シンポジウムを開催する（名古屋大学、2027 年秋、期間は 2-3 日程度を予定）。

研究班		2025年度				2026年度					2027年度			
1. 理論	全体集会	ハビトウス理論の考察の深化	叢書第2&3巻刊行 海外研究参画者との連携（ワークショップ・セミナー開催）	第2回創発知研究会	全体集会	叢書第4&5巻刊行 文学雑誌『Europe』の特集	ハビトウス論の導入	全体集会	アーティストらとの連携	第3回創発知研究会	海外研究参画者との連携（ワークショップ・セミナー開催）	全体集会	叢書第6巻刊行	国際シンポジウム2件 第4回創発知研究会
2. 自然と人間の相互関係史														
3. 言語獲得と主体化プロセス														
4. セクシュアリティの多様性														
5. 生政治とアート														

※定期開催：テキストマイニング講習会、オンライン読書会；随時開催：各班の班別会議、GLミーティング

研究成果報告

年度	2024 年度
配分機関名	独立行政法人日本学術振興会
制度名	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業
事業名	学術知共創プログラム
公募名	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（学術知共創プログラム）
課題ID	22674991
課題名	人間・社会・自然の来歴と未来：「人新世」における人間性の根本を問う

【研究論文】

種別	研究論文(その他学術会議資料等)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	人間・社会・自然の来歴と未来：「人新世」における人間性の根本を問う				
著者名	中村靖子				
雑誌名	令和6（2024）年度学術知共創プログラム・研究フォーラム				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	論文集(書籍)内論文	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	センチメント分析で分析される「センチメント」とは？－『マルテの手記』翻訳の比較より				
著者名	中村靖子，鄭弯弯				
雑誌名	ことば×データサイエンス				
巻		掲載ページ (開始)	180	掲載ページ (終了)	196
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	論文集(書籍)内論文	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	フロイトのテキスト分析ー言葉をめぐる想念の追跡				
著者名	中村靖子，鄭弯弯				
雑誌名	ことば×データサイエンス				
巻		掲載ページ (開始)	201	掲載ページ (終了)	230
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2024 年	査読有無	有
論文課題	Emotional Effects Created By the Story--Comparing the Sentiment Scores of the Two Chapters of Malte 's Notebooks--				
著者名	Yasuko Nakamura, Wanwan Zheng				
雑誌名	Narrative Sentiment Analysis Using Language Models Panel, INTERFACEing 2024				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2024 年	査読有無	有
論文課題	Analysis of Freud's texts				
著者名	Yasuko Nakamura, Wanwan Zheng				
雑誌名	Anthropocene Calling 2: Humans, Animals, and Machines				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	Pain and latency--Until the pain is expressed--				
著者名	Yasuko Nakamura, Wanwan Zheng				
雑誌名	12th East-West Philosophers ' Conference				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)		発行年	2024 年	査読有無	有
論文課題	Transient Reviving Dynamics with an Exact Solution for Delay Differential Equations					
著者名	Kenta Ohira, Toru Ohira					
雑誌名	Journal of the Physical Society of Japan					
巻	93	掲載ページ (開始)	094801	掲載ページ (終了)		
掲載論文DOI	https://doi.org/10.7566/JPSJ.93.094801					
その他識別番号						
掲載確定		国際共著		オープン アクセス		
備考						

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)		発行年	2024 年		査読有無	有
論文課題	Solving a Delay Differential Equation through Fourier Transform						
著者名	Kenta Ohira, Toru Ohira						
雑誌名	Physics Letters A						
巻	531	掲載ページ (開始)	130138	掲載ページ (終了)			
掲載論文DOI	https://doi.org/10.1016/j.physleta.2024.130138						
その他識別番号							
掲載確定		国際共著		オープン アクセス			
備考							

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	Amplitude Enhancements through rewiring of a non-autonomous delay system				
著者名	Kenta Ohira, Toru Ohira, Hideki Ohira				
雑誌名	arXiv				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI	https://doi.org/10.48550/arXiv.2411.01965				
その他識別番号	07:241101965				
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	The Bifurcation Growth Rate for the Robust Pattern Formation in the Reaction-Diffusion System on the Growing Domain				
著者名	Shin Nishihara, Toru Ohira				
雑誌名	arXiv				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI	https://doi.org/10.48550/arXiv.2407.17217				
その他識別番号	07:240717217				
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	The Turing Pattern Transition with the Growing Domain and Metabolic Rate Effects				
著者名	Shin Nishihara, Toru Ohira				
雑誌名	arXiv				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI	https://doi.org/10.48550/arXiv.2403.05741				
その他識別番号	07:240305741				
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	Separation out of Entanglement				
著者名	Toru Ohira				
雑誌名	arXiv				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI	https://doi.org/10.48550/arXiv.2409.18495				
その他識別番号	07:240918495				
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	An Exact Solution for a non-autonomous delay differential equation				
著者名	Kenta Ohira				
雑誌名	arXiv				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI	https://doi.org/10.48550/arXiv.2411.11402				
その他識別番号	07:241111402				
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	Evolutionary ecology of words				
著者名	Reiji Suzuki, Takaya Arita				
雑誌名	Proceedings of the 2025 IEEE Symposium on Computational Intelligence in Artificial Life and Cooperative Intelligent Systems				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI	10.1109/ALIFE-CIS64968.2025.10979831				
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2025 年	査読有無	
論文課題	Effects of cultural niche construction on cooperative and collective dynamics in the social particle swarm model				
著者名	Noboru T. Hamano, Reiji Suzuki, Takaya Arita				
雑誌名	Proceedings of the 30th International Symposium on Artificial Life and Robotics				
巻		掲載ページ (開始)	217	掲載ページ (終了)	222
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)		発行年	2025 年	査読有無	
論文課題	Towards Open-Ended Cultural Evolution Using LLM-Based Agents Enhancing Creativity in Science Fiction Plot Generation					
著者名	Mahiro Kato, Reiji Suzuki, Takaya Arita					
雑誌名	Proceedings of the 30th International Symposium on Artificial Life and Robotics					
巻		掲載ページ (開始)	193		掲載ページ (終了)	198
掲載論文DOI						
その他識別番号						
掲載確定		国際共著			オープン アクセス	
備考						

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年		査読有無	有
論文課題	How LLMs can evolve various personality traits within social dilemmas				
著者名	Reiji Suzuki, Takaya Arita				
雑誌名	Proceedings of the 6th International Workshop on Agent-Based Modelling of Human Behaviour (ABMHuB'24) in ALIFE2025				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(研究会, シンポジウム資料等)	発行年	2025 年	査読有無	
論文課題	社会粒子群モデルにおける文化的ニッチ構築の影響				
著者名	浜野登, 鈴木麗璽, 有田隆也				
雑誌名	第38人工知能学会全国大会論文集				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(研究会, シンポジウム資料等)	発行年	2025 年	査読有無	
論文課題	大規模言語モデルを用いた会話集団における社会的相互作用と文化進化				
著者名	浅野誉子, 鈴木麗璽, 有田隆也				
雑誌名	第87回情報処理学会全国大会論文集				
巻	1	掲載ページ (開始)	417	掲載ページ (終了)	418
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(研究会, シンポジウム資料等)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	大規模言語モデルを用いた複数ゲーム環境における性格特性の進化モデル				
著者名	Kang Mincheol, 鈴木麗璽, 有田隆也				
雑誌名	第9回人工生命研究会予稿				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	論文集(書籍)内論文	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	人工テキストのマイニング - 雑談する大規模言語モデル集団が創る社会構造と文化進化 -				
著者名	鈴木麗璽, 浅野誉子, 有田隆也				
雑誌名	ことば×データサイエンス				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	論文集(書籍)内論文	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	言葉の進化生態モデル				
著者名	鈴木麗璽, 有田隆也				
雑誌名	ことば×データサイエンス				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	論文集(書籍)内論文	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	惑星的都市化 都市問題の変容				
著者名	平田周				
雑誌名	新しい都市空間ー都市理論とスケール問題				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(その他学術会議資料等)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	Scale theory, study of planetary urbanization, and critique of everyday life				
著者名	Shu Hirata				
雑誌名					
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(その他学術会議資料等)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	Commentary on Chapter 6 of Rescaling Urban Poverty				
著者名	Shu Hirata				
雑誌名					
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(研究会, シンポジウム資料等)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	異種混交のアクターが連なる協業としての知識生産				
著者名	金信行				
雑誌名	2024年度人工知能学会全国大会(第38回)論文集				
巻		掲載ページ (開始)	1	掲載ページ (終了)	4
掲載論文DOI	https://doi.org/10.11517/pjsai.JSAI2024.0_2N40S2102				
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(その他学術会議資料等)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	大黒岳彦『 情報的世界観 の哲学』(2023年)書評				
著者名	金信行				
雑誌名	図書新聞				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(大学，研究機関紀要)	発行年	2025 年	査読有無	
論文課題	ブロックチェーンELSI（倫理的・法的・社会的課題）の予備的考察				
著者名	金信行，森下翔				
雑誌名	ELSI NOTE				
巻		掲載ページ (開始)	1	掲載ページ (終了)	31
掲載論文DOI	https://doi.org/10.18910/100255				
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	Lexical richness viewed through lexical diversity, density, and sophistication				
著者名	Wanwan Zheng				
雑誌名	Digital Scholarship in the Humanities				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI	https://doi.org/10.1093/lhc/fqaf023				
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)	発行年	2024 年	査読有無	有
論文課題	Estimating word difficulty using stratified word familiarity				
著者名	Wanwan Zheng				
雑誌名	Cogent Arts & Humanities				
巻	11	掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI	https://doi.org/10.1080/23311983.2024.2420467				
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	Can Official Data be Trusted? Clarifying Biases in Sentiment Analysis				
著者名	Wanwan Zheng				
雑誌名	Proceedings of The 5th Asia Conference on Information Engineering				
巻		掲載ページ (開始)	129	掲載ページ (終了)	135
掲載論文DOI	https://doi.org/10.1109/ACIE64499.2025.00028				
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2024 年	査読有無	有
論文課題	Examination of Language Models for Literary Works				
著者名	Wanwan Zheng				
雑誌名	Narrative Sentiment Analysis Using Language Models Panel, INTERFACEing 2024				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(研究会, シンポジウム資料等)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	層別化した単語親密度が単語難易度推定への関与				
著者名	鄭弯弯				
雑誌名	研究報告自然言語処理				
巻	2024-NL-260	掲載ページ (開始)	1	掲載ページ (終了)	7
掲載論文DOI	https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/records/235111				
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(研究会, シンポジウム資料等)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	語種によって単語の難易度が変わるか				
著者名	鄭弯弯				
雑誌名	FIT2024 第23回情報科学技術フォーラム				
巻		掲載ページ (開始)	309	掲載ページ (終了)	310
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	論文集(書籍)内論文	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	感情分析 人間と機械による感情判断の比較				
著者名	鄭弯弯				
雑誌名	ことば×データサイエンス				
巻		掲載ページ (開始)	285	掲載ページ (終了)	305
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	論文集(書籍)内論文	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	遠読できることと，できないこと??インド古典演劇論からのアプローチ				
著者名	岩崎陽一				
雑誌名	ことば×データサイエンス				
巻		掲載ページ (開始)	61	掲載ページ (終了)	72
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	Pain and latency: Until the pain is expressed				
著者名	Yoichi Iwasaki				
雑誌名	12th East-West Philosophers ' Conference				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	The Value of Mortality in Cultivating Moral Virtues: Why AI Robots Cannot Replace Human Relationships				
著者名	Koji Tachibana				
雑誌名	Journal of Moral Education				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI	10.1080/03057240.2025.2460843				
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	Social AI and Humane Relationships: Tracking Technologies and Behavioural Health				
著者名	Koji Tachibana				
雑誌名	12th East-West Philosophers ' Conference				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(大学，研究機関紀要)	発行年	2025 年	査読有無	
論文課題	エゾライチョウの学名の歴史的変遷に関する基礎研究				
著者名	伊東剛史				
雑誌名	専修大学人文科学研究所月報				
巻		掲載ページ (開始)	3	掲載ページ (終了)	18
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	論文集(書籍)内論文	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	ダーウィン『ビーグル号航海記』のセンチメント分析：感情史における量的分析と質的分析の融合に向けて				
著者名	伊東剛史，鄭弯弯				
雑誌名					
巻		掲載ページ (開始)	73	掲載ページ (終了)	100
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)		発行年	2024 年		査読有無	
論文課題	The Power and Performativity of Naming: A Natural and Cultural History of the Mikado Pheasant in Early Twentieth-century Taiwan and Beyond						
著者名	Takashi Ito						
雑誌名	Historical Studies in the Natural Sciences						
巻	54	掲載ページ (開始)	157	掲載ページ (終了)	186		
掲載論文DOI	https://doi.org/10.1525/hsns.2024.54.2.157						
その他識別番号							
掲載確定		国際共著		オープン アクセス			
備考							

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	ドゥボールはイズーからなぜ離れたのかの？ 「アヴァンギャルド」と「転用」をめぐって				
著者名	森元 斎				
雑誌名	多文化社会研究				
巻	11	掲載ページ (開始)	1	掲載ページ (終了)	13
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	論文集(書籍)内論文	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	ひとりひとりの宇宙ーオンライン調査からみえてくる				
著者名	高橋英之, 竹内英梨香				
雑誌名	ことば×データサイエンス				
巻		掲載ページ (開始)	251	掲載ページ (終了)	275
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)	発行年	2025 年	査読有無	
論文課題	「ちくちくことば」「ふわふわことば」を超えて?触覚的メタファーの功罪				
著者名	和泉悠				
雑誌名	現代思想				
巻	53	掲載ページ (開始)	132	掲載ページ (終了)	137
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	Abusive Language in the Age of AI: Insights from the Japanese Linguistic and Cultural Context				
著者名	Yu Izumi				
雑誌名	12th East-West Philosophers ' Conference				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)			発行年	2024 年	査読有無	有
論文課題	Exploratory Investigation of the Effects of Perspective Taking and Awareness of Vulnerability on Impressions of Robots						
著者名	Shinnosuke Ikeda						
雑誌名	Social Psychology and Society						
巻	15	掲載ページ (開始)	155	掲載ページ (終了)	163		
掲載論文DOI	https://doi.org/10.17759/sps.2024150210						
その他識別番号							
掲載確定		国際共著		オープン アクセス			
備考							

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)	発行年	2024 年	査読有無	有
論文課題	Inconsistent advice by ChatGPT influences decision making in various areas				
著者名	Shinnosuke Ikeda				
雑誌名	Scientific Reports				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI	https://doi.org/10.1038/s41598-024-66821-4				
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	論文集(書籍)内論文	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	ポール・ヴァレリー著『メランジュ 詩と散文』（全345頁，解題はp.278-345）				
著者名	鳥山定嗣				
雑誌名	幻戯書房（出版社）				
巻		掲載ページ (開始)	1	掲載ページ (終了)	345
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	論文集(書籍)内論文	発行年	2025 年	査読有無	
論文課題	『越境するアフォリズム シンポジウム「アフォリズムと通念ー日仏独文学をめぐって」論文集』のまえがき				
著者名	ポーヴィウ・マリ＝ノエル				
雑誌名	越境するアフォリズム シンポジウム「アフォリズムと通念ー日仏独文学をめぐって」論文集				
巻		掲載ページ (開始)	5	掲載ページ (終了)	18
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	論文集(書籍)内論文	発行年	2025 年	査読有無	
論文課題	『越境するアフォリズム シンポジウム「アフォリズムと通念ー日仏独文学をめぐって」論文集』のまえがき(フランス語)				
著者名	ポーヴィウ・マリ＝ノエル				
雑誌名	越境するアフォリズム シンポジウム「アフォリズムと通念ー日仏独文学をめぐって」論文集				
巻		掲載ページ (開始)	19	掲載ページ (終了)	30
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	論文集(書籍)内論文	発行年	2025 年	査読有無	
論文課題	(翻訳)アフォリズムについて				
著者名	ポーヴィウ・マリ＝ノエル				
雑誌名	越境するアフォリズム シンポジウム「アフォリズムと通念－日仏独文学をめぐって」論文集				
巻		掲載ページ (開始)	218	掲載ページ (終了)	222
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(研究会, シンポジウム資料等)	発行年		査読有無	
論文課題	芥川文学をフランス語で訳す - 「侏儒の言葉」を巡って				
著者名	ポーヴィウ・マリ＝ノエル				
雑誌名	第19回国際芥川龍之介学会ISAS台湾大会 (「芥川万華鏡 読み解かれるもの・生み出されるもの」)				
巻		掲載ページ (開始)	45597	掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	思考の没落、抑圧の消滅 アメンチア無意識の時代				
著者名	立木康介				
雑誌名	精神分析的精神医学				
巻		掲載ページ (開始)	1	掲載ページ (終了)	7
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(その他学術会議資料等)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	精神分析における「現実」 フロイト、ウィニコット、ラカン				
著者名	立木康介				
雑誌名	塚本昌則・鈴木雅雄編『 現実 論序説 フィクションとは何か？ イメージとは何か？ 』				
巻		掲載ページ (開始)	199	掲載ページ (終了)	229
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)		発行年	2024 年		査読有無	有
論文課題	Giftedness and atypical sexual differentiation: enhanced perceptual functioning through estrogen deficiency instead of androgen excess.						
著者名	Kikue Sakaguchi, Shintaro Tawata						
雑誌名	Frontiers in Endocrinology						
巻	15	掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)			
掲載論文DOI	doi.org/10.3389/fendo.2024.1343759						
その他識別番号							
掲載確定		国際共著		オープン アクセス			
備考							

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)			発行年	2024 年	査読有無	有
論文課題	Androgyny and atypical sensory sensitivity associated with savant ability: a comparison between Klinefelter syndrome and sexual minorities assigned male at birth						
著者名	Shintaro Tawata, Kikue Sakaguchi, Atsuko Saito						
雑誌名	Frontiers in Child and Adolescent Psychiatry						
巻	3	掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)			
掲載論文DOI	doi.org/10.3389/frcha.2024.1356802						
その他識別番号							
掲載確定		国際共著		オープン アクセス			
備考							

【研究論文】

種別	研究論文(その他学術会議資料等)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	性別違和者における感覚および認知の特異性?				
著者名	多和田真太郎, 坂口菊恵, 齋藤慈子				
雑誌名	日本GI（性別不合）学会雑誌				
巻	17	掲載ページ (開始)	339	掲載ページ (終了)	341
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(研究会, シンポジウム資料等)	発行年	2025 年	査読有無	
論文課題	性的マイノリティおよび、性分化の多様性の成因論の変遷と社会的インパクト				
著者名	坂口菊恵				
雑誌名	令和6年度第3回大学等の質保証人材育成セミナー「いまさら聞けないIDEI??高等教育の現場から」				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(その他学術会議資料等)	発行年	2025 年	査読有無	
論文課題	認識の多面性とその統合：ジェンダーと近現代科学の世界観を題材に				
著者名	坂口菊恵				
雑誌名	日本GI（性別不合）学会 第26回研究大会・総会				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(研究会, シンポジウム資料等)	発行年	2025 年	査読有無	
論文課題	Perceptual Processing Lability and Gender Incongruence: Potential Links to Savant Abilitie s and Neurodevelopmental Disorders?				
著者名	Kikue Sakaguchi, Shintaro Tawata, Atsuko Saito				
雑誌名	「社会脳」: Dr. Larry J. Young メモリアル国際シンポジウム				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(大学，研究機関紀要)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	グローバル化時代の芸術作品				
著者名	武田宙也				
雑誌名	学問で平和はつくれるか？				
巻		掲載ページ (開始)	193	掲載ページ (終了)	201
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(研究会, シンポジウム資料等)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	包摂的美学とは何か ニコラ・ブリオーと人新世の美学				
著者名	武田宙也				
雑誌名	大阪大学共創芸術プロジェクト公開研究会「芸術における「共創」概念の再検討 美学理論・美術批評・現代芸術実践からのアプローチ」				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	On the Anthropocenic Sublime				
著者名	Hironari Takeda				
雑誌名	Anthropocene Calling 2: Humans, Animals, and Machines				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(研究会, シンポジウム資料等)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	Rethinking of Materialism				
著者名	池野 絢子				
雑誌名	国際シンポジウム「すべてのものとダンスを踊ってー共感のエコロジー」				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	How to Imagine the Atmosphere : Contemporary Art in the Age of Anthropocene				
著者名	Ayako IKENO				
雑誌名	Anthropocene Calling 2: Humans, Animals, and MachinesInternational Conference				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)		発行年	2024 年	査読有無	有
論文課題	生成AIとメンタルヘルスケア：テキスト生成型AIの可能性と課題					
著者名	山本 哲也，金井 嘉宏					
雑誌名	Medical Imaging Technology					
巻	42	掲載ページ (開始)	100	掲載ページ (終了)	105	
掲載論文DOI	https://doi.org/10.11409/mit.42.100					
その他識別番号						
掲載確定		国際共著		オープン アクセス		
備考						

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	Digital Habitus and Mental Health: Exploring the Impact of Generative AI in Everyday Life				
著者名	Tetsuya Yamamoto				
雑誌名	Anthropocene Calling 2: Humans, Animals, and Machines				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)		発行年	2024 年	査読有無	有
論文課題	In-group binding moral values and reactive behavioral immune responses					
著者名	Hirotaka Imada, Yang Li, Nobuhiro Mifune, Hideki Ohira					
雑誌名	Current Psychology					
巻	43	掲載ページ (開始)	35471	掲載ページ (終了)	35477	
掲載論文DOI	https://doi.org/10.1007/s12144-024-07023-z					
その他識別番号						
掲載確定		国際共著		オープン アクセス		
備考						

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)		発行年	2024 年		査読有無	有
論文課題	Striatal GABA levels correlate with risk sensitivity in monetary loss						
著者名	Hirohito M Kondo, Takeyuki Oba, Takahiro Ezaki, Takanori Kochiyama, Yasuhiro Shimada, Hideki Ohira						
雑誌名	Frontiers in Neuroscience						
巻	18	掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)			
掲載論文DOI	https://doi.org/10.3389/fnins.2024.1439656						
その他識別番号							
掲載確定		国際共著		オープン アクセス			
備考							

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2024 年	査読有無	有
論文課題	The neuro-habitus: Brain-body mechanisms generating, maintaining, and changing "Habitus"				
著者名	Hideki Ohira				
雑誌名	Anthropocene Calling 2: Humans, Animals, and Machines				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(国際会議プロシーディングス)	発行年	2024 年	査読有無	
論文課題	The Disease of Prediction: Transformation of Human Nature by AI				
著者名	Hideki Ohira				
雑誌名	12th East-West Philosophers ' Conference				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(その他学術会議資料等)	発行年		査読有無	
論文課題	Towards Emergence of Human Creativity in silico, Simulation of the Systems Model of Creativity using generative AI				
著者名	Naomi Imasato, Kazuki Miyazawa, Takayuki Nagai, Takato Horii				
雑誌名	ALIFE2024 late breaking abstracts				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(その他学術会議資料等)	発行年		査読有無	
論文課題	性格を付与したChatGPTと発話選択モデルによる対話の誘導				
著者名	福田聡也, 高見滉平, 浅香智輝, 宮澤和貴, 堀井隆斗				
雑誌名	第42回日本ロボット学会学術講演会 (RSJ2024)				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(その他学術会議資料等)	発行年		査読有無	
論文課題	基盤モデルの実ロボット応用 - チュートリアルC				
著者名	宮澤 和貴, 河原塚 健人, 松嶋 達也				
雑誌名	第42回日本ロボット学会学術講演会 (RSJ2024)				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(その他学術会議資料等)	発行年		査読有無	
論文課題	HumanoidBot: ヒューマノイドロボットを用いた物体操作を含む雑談対話システム				
著者名	宮澤 和貴, 浅香 智輝, 堀井 隆斗				
雑誌名	第42回日本ロボット学会学術講演会 (RSJ2024)				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(その他学術会議資料等)	発行年		査読有無	有
論文課題	Simulating Effects of Interoceptive Accuracy on Decision-Making in Open-World Survival Games				
著者名	Takato Kishida, Chie Hieida, Yosuke Taniuchi, Kazuki Miyazawa and Takato Horii				
雑誌名	30th International Symposium on Artificial Life and Robotics (AROB 30th 2025)				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(研究会, シンポジウム資料等)	発行年		査読有無	
論文課題	ロボットは言葉をどう理解する?ー言語と実世界をつなぐロボットの知能				
著者名	宮澤和貴				
雑誌名	第9回大阪大学豊中地区研究交流会				
巻		掲載ページ (開始)		掲載ページ (終了)	
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)	発行年	2024 年	査読有無	有
論文課題	特集 / 生成AIの実践的探求にみる可能性と諸問題 ? - 序文 -				
著者名	南谷奉良				
雑誌名	Medical Imaging Technology				
巻	42	掲載ページ (開始)	77	掲載ページ (終了)	78
掲載論文DOI	https://doi.org/10.11409/mit.42.87				
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(学術雑誌)	発行年	2024 年	査読有無	有
論文課題	生成AIチャットアプリ“ Aivis ”の開発 多人数による生成空間の共有				
著者名	南谷奉良				
雑誌名	Medical Imaging Technology				
巻	42	掲載ページ (開始)	87	掲載ページ (終了)	93
掲載論文DOI	https://doi.org/10.11409/mit.42.87				
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究論文】

種別	研究論文(その他学術会議資料等)	発行年	2025 年	査読有無	有
論文課題	Barri, J. Gold. Energy, Ecocriticism, and Nineteenth-Century Fiction; Novel Ecologies				
著者名	南谷奉良				
雑誌名	Studies in English Literature				
巻		掲載ページ (開始)	157	掲載ページ (終了)	162
掲載論文DOI					
その他識別番号					
掲載確定		国際共著		オープン アクセス	
備考					

【研究データ】

種別					
	公開	共有	非共有・非公開	期限付き公開予定	総数
管理対象データ	件	件	件	件	0件